テーマ：自然（冬）

4歳児クラス　16名　90分

活動　①霜柱・氷探し

冬ならではの自然に触れ、気づいたことを友だちと共有しながら興味関心を深める。

準備したもの　霜柱の写真、ホワイトボード

〇活動内容

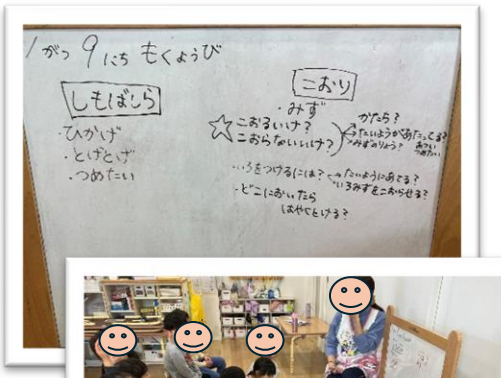
身近な公園や散歩道の中で、霜柱や氷など冬ならではの自然に触れながら、冬の自然を感じる。気づいたことを友だちと共有したり試したりしながら興味関心を深めていく。

〇保育者の問いかけやアプローチ

散歩の前に霜柱の写真を見せ、「どうして霜柱や氷が出来るのだろう？」と問いかけた。興味を持った子が多かったので、散歩の中で探してみようと誘いかけた。

〇子どもの様子

霜柱の写真を見せると、「それ知ってる！」と声をあげる子どもが多かった。「どうして霜柱や氷が出来るのだろう？」と問いかけると、「寒いからだよ！」「特に日かげは寒いから出来ていると思う！」と意見が出たため、散歩をしながら寒くて日陰になっているところを中心に探していった。実際に霜柱を見つけると、じっと観察し「とげとげしている」と気づいたことを言う姿や、手の上に乗せ「冷たい！」「少し溶けてきた。なんでだろう？」と気づいたことからさらに不思議に思ったことを口々に話していた。また、同じ池でも凍っている池と、そうでない池があることに気付いていた。場所によって溶け方が違うのか？色を付けたらどうなるのか？という疑問も出てきた。帰園後は気付いたことをクラスで共有した。どんなところで霜柱や氷が出来るのか→日陰、寒い所。なぜ凍る池と凍らない池があるのか→水の量が違う、大きさが違う、池の形が違う。などの意見が出た。



振り返り

散歩の中で気づいたことをクラス全体で共有したことで、興味のなかった子も徐々に興味を持ち始めることができた。また、話を進めていく中で「自分で氷を作ってみたい」という意見も出た為、次は子ども達が気づいたことを取り入れながら自由に氷を作る機会を設けていきたい。